

2014年6月23日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2014年26号)

ワールドカップ期間中における邦人に対する強盗被害等の発生

- 1 22日午後8時頃、邦人観光客がセントロ地区のカリオカ通りを歩いていたところ、15歳前後の少年2人にナイフを使って脅され、所持していたカバンの中から、現金、カード類及びスマートフォン2台を強取されました。

現場付近は狭い路地で、平日の昼間は比較的賑やかですが、警察によれば、休日、夜間は人通りが少なく、強盗等の路上犯罪が多発しているとのことです。

【注意点】

- 高級カメラやスマートフォンが狙われる傾向が顕著です。特に移動する際、カバンの中に入れ、人目につかない様にしましょう。

※ 簡単に換金できるスマートフォンは、当地の泥棒にとって格好の獲物です。

- セントロ地区に限らず、夜間に安易に外出して被害に遭う例が多く見られます。夜間はどこでも危険だということを認識してください。

- 万が一強盗に遭った場合、抵抗するのは極めて危険です。素直に相手の要求に応じた上で、落ち着いて行動しましょう。

- 2 22日午後5時頃、在留邦人が、コスメ・ベリヨ地区から南地区方面行きのバスに乗車していたところ、気が付かない間に、所持していたバックのチャックを開けられ、カード類の入った財布を盗まれました。

バス内は、リオ市内の有数の観光地であるコルコバードの丘からコパカバーナ方面へ向かう人々で非常に混雑していました。被害者は、降車する際、人の間をかき分けながら進んでおり、その際に盗まれた可能性が高いとのことです。

【注意点】

特にワールドカップ期間中、コルコバード丘やコパカバーナ地区等の観光地を行き来するバスの混雑が見込まれます。警察によれば、これに乗じたすり、ひったくり等の窃盗犯罪も増加しているとのことです。

- カバン等は常に自分の見える場所に置きましょう。
- 人混みの中を歩くときには、必ずカバン等を自分の正面に抱えながら歩きましょう。
- 外出の際、持ち物は必要最小限度にし、貴重品は持ち歩かないようにしましょう。